

分野	評価項目	目標・具体的方策	評価	評価	
学校経営	方針・努力目標	インターネット教育（e-ラーニング）の充実と発展	/	B	
		① インターネット通信制高校の存在価値を再確認し、不登校生・勤労者・病弱者等を支援する教育活動を展開する。			A
		② 教職員の共通理解と意識改革を図り、インターネットを基盤とした教育改革を推進する。			B
組織運営	校務分掌 校内研修	校務分掌の適正化と充実	/	B	
		① 生徒への適切な成長支援や人権教育を全職員が主体的に行うことができるように校務分掌の適正化をはかり、校内研修を充実させる。			B
教育活動	教科指導	学力の向上と自主性の育成	/	B	
		① スクーリングやライブ授業中継等を充実させ、基礎学力の確実な定着を図る指導を行う。			B
		② 在宅ビデオ学習に計画的に取り組ませ、主体的に学習する姿勢を育てる。	B		
	生徒指導	基本的生活習慣の確立と頭髪指導の徹底	/	B	
		① 明るいあいさつ・節度ある言動・端正な身なり・時間の遵守などを大切にする意識を育み、基本的なマナーの確立を図る。特に頭髪指導においては茶髪禁止を徹底指導する。			A
		② 明確な目的意識をもたせることにより、スクーリングや通学コースの授業での遅刻・欠席の少ない、生き生きとした学校生活の実現を図る。			B
		③ 京都美山高校としての帰属意識を高め、京都美山高校の校風に相応しい学校生活を送ることができるように適切な指導を行う。	B		
	心の教育	「通わない...でも心の通う学校」の実現、生徒一人ひとりを大切にする教育の実践	/	B	
		① 生徒・保護者・教師間の信頼関係のうえに立った、心の通う教育の実践に努める。			B
		② 学年・分掌・教科等の連携を密にし、生徒の情報を多くの教師が共有することにより、きめ細やかな生徒指導を行う。			B
③ ライブ中継授業やスクーリングや学校行事において、生徒の「生きる力」と「自信」を育み、その実現を図る。		B			
	④ ライブ中継授業のホームルーム等において、全体計画に沿った道徳教育を推進する。	A			
健康・安全 教育	健康、安全教育の充実と不登校支援	/	A		
				① 健康教育を充実し、生命の尊重・いじめの防止・健康に対する意識の高揚を図る。	B
				② 安全教育(禁煙教育・薬物乱用防止教育・交通安全教育等)の推進を図る。	A
	③ 不登校支援に努める。	A			
特別活動	特別活動の充実	/	B		
				① 生徒自治会行事・生徒自治会活動・ボランティア活動・映画観賞会等への積極的な参加を促す	B
進路指導	進路指導の充実	/	B		
				① 適切な進路情報の提供に努め、自主的に進路目標を設定させるとともに、その実現に向けて具体的な指導を行う。	B
	② 教員による進路ガイダンスとともに、外部専門学校や大学の職員の方々による進路ガイダンスを実施し、進路に対する意識を促進させる。	B			
教育環境	環境美化	教育環境の整備と美化意識の高揚	/	B	
					① 教師と生徒が一体となって、明るく美しい教育環境の構築に努める。
		② 平素の清掃活動の指導を徹底するとともに、全校生徒の美化意識の高揚を図る。	A		
	施設設備 の管理	施設設備の点検・整備	/	B	
① 安全な教育環境を整え、維持するために、施設設備の点検・整備に努める。					B
開かれた 学校づくり	一体化した 教育活動	学校・保護者等が一体となった教育活動の展開	/	B	
					① 保護者・中学校との密接な連携を図り、その教育力を積極的に活用する。
	情報提供	広報活動の徹底	/	B	
					① 広報活動を充実させ、本校教育活動への理解と協力を得る。
	② 「京都美山高校」の周知と志願者の確保に向けて、広報活動に積極的に取り組む。	B			